ISO/TC46/WG2報告　　　　　　　　　　　　　　　　　宮澤　彰

日時：2014-05-07 14:00-17:00

場所：米国ワシントンDC 議会図書館

参加国：フランス（Elizabeth Porteneuve 主査），フランス，オーストリア・

TC37（Christian Gallinsky），カナダ，米国（Kate Dolanほか4名），日本，英

国， ICANN（Jaap Akkerhuis），オーストラリア，アイルランド（Michael

Everson），TC46事務局，スウェーデン

議事内容：出席者確認のあと，2.事務局報告，3.MA報告，4.その他の報

告，5.3166のmajor revisionというアジェンダであったが，まったくそのように

は進まなかった。議論は錯綜していたが，問題となったのは2点である。ひとつ

は，国名コードの無料での提供であり，もう一つが，3166-1でのoriginal

scriptでの国名の表示を加えるという改訂（JAの行のJAPAN等の後ろの方に"日本

国"が加わる）である。

・無料での提供は，アイルランドの委員らが強い口調で主張してい

た。現在ブラウズは無料で可能であるが，ダウンロードは年間300スイスフラン

の有料となっている。従前からのメンバーは，以前にも（何回

か）無料での提供をアピールしてきていると反論。結局，再度のアピールを行う

ことになり，recommendationの文面が議論され「以前のように」無料アクセスで

きることを要求することになった。

・original scriptでの国名表示は，major revisionとして昨年から問題にされ

ている点で，IETFのJohn Klensinも反対して，文書（TC46\_N2471）を出した経緯

がある。今回は，TC37のオーストリアも反対をした。ICANN，アイルランドも反対の立場である。

米国は，MAとしての立場もあり，original script反対の立場は理解する

が，original scriptに対する要求も理解できるというスタンスに思われる。主

査，Elizabeth Porteneuveは，オリジナルスクリプトでの表示がシステムによっ

てまちまちになってしまう（主として東欧系言語のダイアクリティクスつきラテ

ン文字の例を挙げていた。）点について，何とかならないかと主張。結局まとま

らず，マイナーリビジョンを進めることだけが結論となった。